

高過ぎる国民健康保険料は引き下げよ！

県・国保運営方針の見直し案に対して意見をあげよう

和歌山県は、国保運営方針の見直し案に対する意見募集（パブリックコメント）を実施しています。期間は3月23日（火）までです。

昨年以来のコロナ禍により暮らしや営業が脅かされてきました。今でも高すぎて国保料が払えない住民が増えているもとで一層深刻です。保険料そのものを引き下げよという声を集中しましょう。

【各団体での取り組み】

- 年金者組合～例文をつくって各支部に下ろしました。
- 民医連～ハガキで意見を送る運動をすすめます。
- 新婦人～役員会でハガキを書いてもらいます。
- 高教組～役員会でハガキを書いてもらいます。
- 和教組～組織として意見を出します。
- 生活と健康を守る会～ハガキで意見を出しました。
- 橋本・伊都社保協～ハガキ70枚を印刷。50枚を普及しました。新婦人18、民商9、生活と健康を守る会7、共産党10など。

★“ハガキあります” 活用して下さい。

県社保協は、年金者組合が作成した意見例文をもとに、ハガキを作成しました。活用して下さい。

◎75歳以上の医療費窓口2割負担反対～広域連合議会と県議会に請願を提出

国会、16日から審議入りの予定～反対署名活動を広げましょう

県社保協は、和歌山県後期高齢者医療広域連合議会と県議会に対して、75歳以上の医療費窓口負担の2割化に反対する意見書を政府に送ることを求めた請願を提出しました。

2月16日に開かれた広域連合議会では田端議員（御坊市）が紹介議員として趣旨説明を行い、東芝議員（かつらぎ町）が賛成討論を行いました。採決の結果は賛成3人（御坊市 かつらぎ町 那智勝浦町）で不採択となりました。

中央社保協の情報によると、75歳以上2割負担化法案を含む「健康保険法一部改正法案」及び地域医療構想促進など「医療法改正法案」は今月の16日から審議入りする予定です。反対署名活動を広げましょう。

25条の日・宣伝活動のご案内

- 3月25日（木）午後0時15分～1時まで JR和歌山駅前にて
- 「75歳以上の医療費窓口負担の2割化反対」の署名活動